

岡山発の国際貢献推進

官民連携組織 17団体参加 10月設立へ準備会

岡山県の官民連携組織「岡山発国際貢献推進協議会」（仮称）の設立準備会の初会合が二十九日、岡山市内で開かれ、十月の立ち上げに向けて協議を始めた。（33面に関連記事）

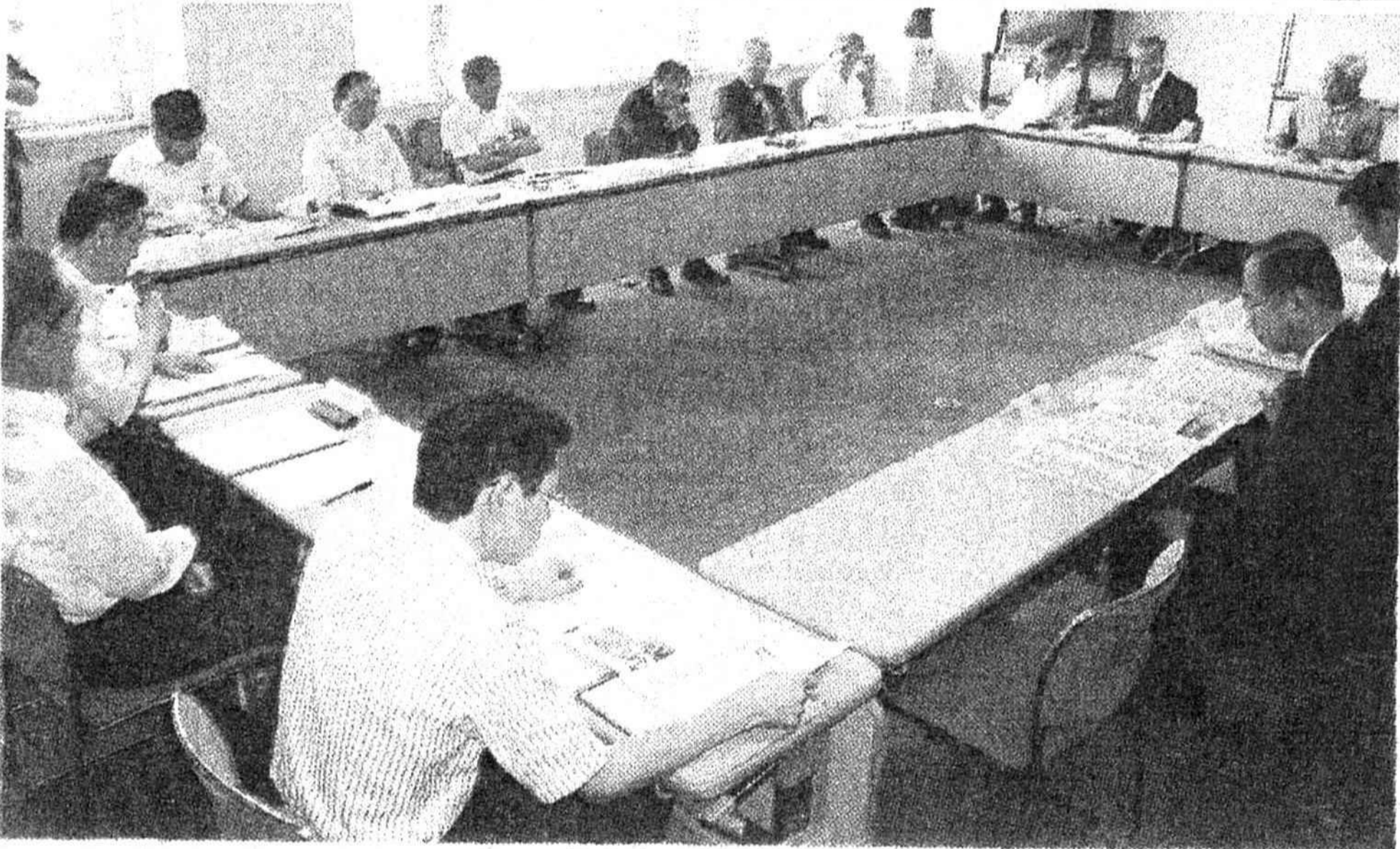
岡山県、NGO（非政府組織）などで行く県国際団体協議会、国際医療ボランティアAMDA（岡山市）、県商工会議所連合会、岡山経済同友会、県農協中央会、県国際交流協会、県内に本社のある報道各社など計十七団体が参加した。

貢献活動のすそ野の拡大などを目的とする規約、会員間の連携による具体的活動のマッチングを柱とする事業計画などを県が提示。NGOは「企業や行政とタイアップすれば活動しやすくな

る」と歓迎。既存の国際団体との違いを明確にするよう求める声もあった。

七月十九日に第二回の準備会を開き、一口一万円を予定している会費の集め方や協議会の役員構成などを協議する。八月八日には石井正弘知事も出席して発起人会を開き、関係団体に幅広く参加を呼びかけた上で、十月に設立する。

岡山県は二〇〇四年四月、全国唯一の国際貢献県条例を施行。県内には国際貢献に取り組むNGOが約四十団体あり、地方都市の中では際立って多い。（名合弘治）



岡山発国際貢献推進協議会の10月設立に向け、規約などを協議する関係者＝岡山市